

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

## センターだより 第76号（通巻第143号）

---

2009年2月20日  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL：055-220-8325, FAX：055-220-8790  
E-mail：jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp  
URL：http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

### ■ 「文学と教育」 ～第20回教育フォーラムのご報告～

山梨大学教育人間科学部主催、第20回教育フォーラムが2月14日（土）J号館A会議室において開催されました。小中高等学校の先生方や大学生を中心に63人が参加し、「文学と教育」～新しい学習指導要領を受けて～をテーマにかかげ協議がなされました。

はじめに、司会・提案者の須貝千里教授（本学国語教育講座）から、本テーマ設定についての概要と、その関連で新しい学習指導要領の国語科教育における方向性を踏まえてのご提案がなされました。そして、地場裕子先生（山梨県立文学館学芸課教育普及リーダー・教育主事）からは、広い視点で文学館における教育普及活動の御紹介がありました。次に、坂本まゆみ先生（北杜市立明野中学校教諭）からは、中学校国語科教育について先生ご自身の実践例の御紹介を頂きました。最後に進藤聡彦教授（本学附属子ども図書館室長）からは、心理学者の立場から幼児期の読み聞かせを中心とした読書のあり方についてのご提案がありました。

その後、参加者からの質問紙をもとにした質疑応答があり、活発な意見交換がなされました。「教員だけでなく、教育主事の方、また、心理学の先生など幅広い見方からお話しを聞くことができとても有意義でした。」「幼児期にビデオを見せるよりも直接話した方が学習能力が高いと言う話がおもしろかった。」「中学校の実践はもちろんです、文学館や梨大の子ども図書館の方からも普段聞くことのできない話題を提供していただいて、大変良かったです。」「子どもたちのもっと知りたい、どうして、おもしろいをたくさん引き出す授業づくりにつとめていきたいなと話をきく中で改めて思いました。」「生涯にわたって読書人を育てると言う視点での話があれば、さらに有意義だったと思います。」などの感想を聞くことができました。



## ■ 第4回教育臨床研究会のお知らせ

3月4日（水）10時半より塩山南小学校の長沼薫教諭を講師に、第4回教育臨床研究会「小学校における通級指導教室について」を予定しています。申し込みは不要です。ご関心のある方はどうぞ直接会場（J号館5F多目的教室）にお出かけください。

## ■ 第4回学内教育相談協議会のお知らせ

第4回学内教育相談協議会を3月中にJ号館5F多目的教室にて行う予定です。詳細はメールにてご連絡いたします。継続中の「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」の現況報告や教育相談報告書の在り方等について意見交換などを予定しています。教育相談スタッフの先生方、ご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

## ■ 第4回教育相談協議会開催の予定

3月3日（火）16時半より教育相談室にて第4回教育相談協議会が開催予定となっております。出席予定者は、附属4校園の教育相談担当教諭、鳥海先生・酒井先生・鶴田先生・谷口の8名です。附属4校園および山梨大学の教育相談の現状と連携のありかたについて協議の予定です。

## ■ 「教師のための教育相談」の報告書に関するお願い

教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。報告書の簡易版および従来の報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口を入れて左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。また、谷口までご請求くだされば、メールでファイルをお送りいたします。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れくださるか、メールにてお送り下さい。

## ■ 「教師相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

教育相談に教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品を貸し出します。借りる際には使用ノートにご記入をお願いします。